

香港日本語教育研究会会長

梁 安玉

会員の皆様、

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

香港日本語教育研究会は 1978 年に創立されて以来、日本語教育の普及と促進に力を注ぎ、皆様より長年のご協力と多大なご支援を賜り、様々な活動を展開してまいりました。そして、香港内のみならず、世界各国・地域で日本語教育・日本研究に携わっている方々との学術・教育交流を進めてまいりました。

2021 年から始まった新型コロナウイルス感染対策による数々の制限の中で、当研究会は色々模索しながら事業と活動を行ってまいりました。

3 月に国際交流基金さくらネットワークの助成によりオンラインにて「日本語でのビジネスコミュニケーション能力の育成と向上——理論と実践」というテーマで、麗澤大学の近藤彩先生と早稲田大学の金孝卿先生を講師にお迎えし、講演会及びワークショップを開催いたしました。香港内だけではなく、海外からも空間と時間の制限を超え、参加した方がいらっしゃったことは、誠に喜ばしいことでした。

4 月には、新型コロナウイルス感染を予防するために、従来対面形式で開催してきたスピーチコンテストをビデオ審査によって実施し、7 月 24 日に「第 16 回香港小中高生日本語スピーチコンテスト」の表彰式を挙りました。4 部門において小中高生が合計 21 名優勝しました。表彰式の後、学生審査員を務めてくださった日本人の中学生、高校生と優勝された香港の学生との交流会を開き、同年代の香港と日本の若者が和気藹々と楽しい交流ができたことがとても印象的でした。

また、皆様に長年ご協力をいただいている学会誌『日本學刊』の 第 24 号を 6 月に出版し、香港及び海外の日本語教育・研究関係機関と会員に配送いたしました。

7月と8月に第11回日本語成績優秀者の奨学金及び日本研究関係のプロジェクト賞の書類審査と面接を実施し、11月に授与式を挙りました。奨学金は高校と副学士課程の学生に6名ずつ、プロジェクト賞はそれぞれ7名と8名に授与いたしました。2021年度までに奨学金を授与された受賞者数は高校生計57名、副学士課程の学生計50名で、プロジェクト賞の受賞者はそれぞれ117名と105名でした。

さらに、香港で日本語教育に従事されている方々のご要望に応じるため、国際交流基金海外派遣日本語教育専門家の齋藤誠先生及び伊達久美子先生のご協力を仰ぎ、集中日本語教師研修やオンラインワークショップ及び勉強会を実施し、好評を博しました。

また、7月及び12月には2021年度第1回と第2回の日本語能力試験(N1-N5)を実施し、応募者総数は過去最高の20,752名となりました。

一方、海外との交流をめぐっては、研究会は「日本語教育グローバルネットワーク」の一員として、オンラインによる日本、中国、韓国、台湾、アメリカ合衆国、豪州、欧州、カナダ、ニュージーランド、インドネシアの日本語教育専門家・研究者との交流や情報交換等に努めております。

最後になりましたが、新型コロナウイルスの影響による異常事態の中で、2021年度における研究会の主要事業や行事が遂行できたことは、何よりも在香港日本国総領事館をはじめ、国際交流基金、日本関係各団体及び機関のご指導、ご鞭撻並びに会員の皆様方の温かいご支援、ご協力によるものと心より御礼を申し上げます。また、理事、各委員会の委員、事務所の職員の尽力にも感謝いたしております。

私は、外国語学習が相互理解と平和への第一歩であると思っております。今後も日本語教育の普及と促進が一層繰り広げられますことを心より期待し、世界各国、地域との学術及び教育交流によって日本語教育の更なる促進と振興に貢献できましたら幸いです。微力ではありますが、皆様と日本語教育の新たな可能性や道標を探究していけたらと心から願っております。

引き続き、変わらぬご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以下、2021年度（2021年1月1日～12月31日）の当研究会の活動報告をまとめました。

- 2020年9月26日～2021年5月29日、2020-21年度集中日本語教師研修を開催しました。
- 1月20日と1月23日、オンラインミニワークショップ「いろどり 入門 を見てみよう」を開催しました。
- 3月6日及び7日、日本国際交流基金さくらネットワーク助成により、オンラインにて「日本語でのビジネスコミュニケーション能力の育成と向上——理論と実践」の講演会及びワークショップを主催しました。

【講演会】

演題 I : 「仕事で必要となる能力の育成：理論・企業・教育の融合」

講師： 近藤 彩先生（麗澤大学大学院 言語教育研究科研究科長・教授）

演題 II : 「キャリア形成につながる日本語教育の実践デザイナー協働学習の理念に基づいて」

講師： 金 孝卿先生（早稲田大学日本語教育研究センター准教授）

【ワークショップ】

演題 I : 「ケース学習で学ぶコミュニケーション：問題解決や人間関係構築を目指して」

講師： 近藤 彩先生（麗澤大学大学院 言語教育研究科研究科長・教授）

演題 2 : 「課題達成のプロセスで学ぶコミュニケーション：SWOT 分析を例に」

講師： 金 孝卿先生（早稲田大学日本語教育研究センター准教授）

- 3月25日と3月27日、オンラインミニワークショップ「読解教材を作ろう」を開催しました。
- 4月17日と4月21日、オンラインミニワークショップ「広東語母語話者の日本語発音学習レシピを作ろう」を開催しました。
- 4月24日、新型コロナウイルス感染を予防するため、これまでの対面コンテストの代わりにビデオ審査によって「第16回香港小中高生日本語スピーチコンテスト」を開催しました。7月24日に表彰式を挙行了しました。
- 6月、『日本學刊』第24号を出版し、会員に郵送し、香港及び海外の日本語関係機関に送付しました。

- 7月4日、香港・マカオで2021年第1回日本語能力試験（N1～N5）を実施し、応募者数は10561名でした。
- 7月10日、副学士課程の日本語成績優秀者の奨学金及び日本研究プロジェクト賞候補者の面接を実施しました。
- 8月14日、高校の日本語成績優秀者の奨学金及び日本研究プロジェクト賞の候補者の面接を実施しました。
- 2021年9月25日～2022年5月21日、2021-22年度集中日本語教師研修を開催しました。
- 11月20日、高校及び副学士課程の日本語成績優秀者の奨学金ならびに日本研究プロジェクト賞の授賞式を行いました。
- 12月5日、香港・マカオで2021年第2回日本語能力試験(N1～N5)を実施し、応募者数は10191名でした。

【理事会】

毎月定例理事会を開催、理事による審議・討論を経て、会の運営等について決定しました。2021年度は計11回の会議を実施しました。

【月例会】

2021年度は計5回開催しました。

土曜日午後2時～4時、当研究会事務所ホールまたはオンラインにて、講演、ワークショップ、フォーラムなどの形式で実施しました。

講師は香港で高等教育、中等教育、日本研究に携わっていらっしゃる方々でした。

- 1月9日、「日本への留学—日本升學講座」。
- 4月10日、「DSE日本語試験とはどのようなものか」。
- 6月12日、「オンライン授業での評価に関する意見交換会」。
- 8月28日、「言語学習ヒストリー—私（たち）は、どのように「日本語/外国語教師」になってきたのか—」。
- 9月11日、「初めて教える日本語—動詞の『て形』—」（国際交流基金専門家）。

以上